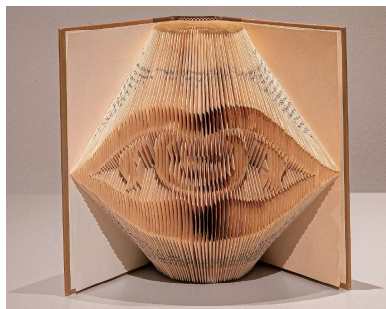




嘘つき

T.Fuku

ブックフォールディング、古本

「嘘つき」は、人間の嘘や誘惑、そして言葉や態度の裏に潜む曖昧さをテーマにした作品です。

学生時代、親しくしていた先輩が陰で、否定的に扱っている場面を目撃し人間関係の表と裏のギャップに初めて気づきました。

さらに、親しい友人から突然距離を置かれた経験では、自分が無意識のうちに誰かを傷つける可能性や人間関係のもろさを痛感しました。

こうした経験を経て、言葉や態度の持つ曖昧さと、そこに秘められた魅力や、危うさを表現したいと強く思うようになりました。この作品では、層の中にヤギの眼球を配置し、その両サイドにツノをモチーフにした形状を加えることで、人間の魅力や欺瞞の曖昧な境界を表現しました。

唇という美しく神秘的な場所をモチーフに、真実と嘘が混在する誘惑の象徴としてデザインしています。

その内側に配置された眼球は唇に隠された本音や欲望を覗き込む存在であり、見る者に言葉の重みや真偽を問いかけます。

作品を通じて、人間が持つ真実と嘘の曖昧な境界を感じてもらい、言葉や行動が持つ影響の大きさについて考えるきっかけになれば幸いです。